

請願
第1号

不採択

**再生可能エネルギー電力の割合を高めるよう
国への意見書提出を求める請願**

生活クラブ生活協同組合埼玉より、第6次エネルギー基本計画の改定にあたり、再生可能エネルギーの電力目標を高め、主力電源化の実現に向け意見書を議会から国会に提出されることを請願するものです。具体的な請願は以下の2点です。

1. 2030年再生可能エネルギーの電力目標を60%以上、2050年度100%とする。
2. 再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急に進める。

問 再生可能エネルギーの電力目標が2030年60%、2050年100%にするのは、実現性に乏しい。電源構成比はどう考えているか。

答 現在示されている電源構成は、石炭26%、天然ガス27%、原子力20～22%、再生可能エネルギー22～24%程度の目標が示されている。石炭による火力発電は縮小していく方向で考えている。

問 原子力発電はどうか。カーボンニュートラルとは両立が難しい面が出てくると指摘されている。安定供給や経済効率性の面で、原子力発電が選択されてきているが、原子力発電の扱いについてはどのように考えるのか。

答 風力発電等では天候に左右され電力が安定しないので、補助として原子力発電を残すというのが政府の考えであるが、ドイツでは再生可能エネルギーで100%動いている自治体がある。農地を使ったソーラーシェアリングを利用すれば、100%再生可能エネルギーで十分可能だと考える。太陽光発電を増やしていけば、原子力発電は止めていけると考える。

問 意見書となれば、電力目標数値の裏付けがとれないので現実味に欠けると考えるが。

答 温暖化対策は取り組まなければならないのが大前提である。2050年再生可能エネルギー100%を実現するためには、2030年にこの目標を立てないと間に合わない。

《6月議会定例会の審議結果》

(○：賛成 x：反対 欠：欠席 ー：採決なし)

議案 番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決 結果	
		石渡 征浩	中村 匡志	野々口 眞由美	斎藤 信治	山崎 巨裕	関口 昌男	松本 栄一	中山 廣子	菱沼 あゆ美	渡辺 聡一郎	加藤 一生	中川 幸廣	細井 公	大島 勉	遠藤 誠	黒須 大一郎	石原 富子	江原 浩之*		
請願 第1号	エネルギー基本計画改定に伴い再生可能エネルギー電力の割合を高めるよう国への意見書提出を求める請願	○	x	○	○	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	○	x	欠	ー	不採択	
30	固定資産評価員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	同意
31	農業委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	同意
32	情報公開条例及び個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決
33	税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決
34	手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決
35	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決
36	地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決
37	専決処分の承認(税条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	承認
38	専決処分の承認(都市計画税条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	承認
39	専決処分の承認(令和3年度一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	承認
40	令和3年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決
41	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	原案可決

※18番 江原浩之議員は議長のため、採決には加わっていません。